

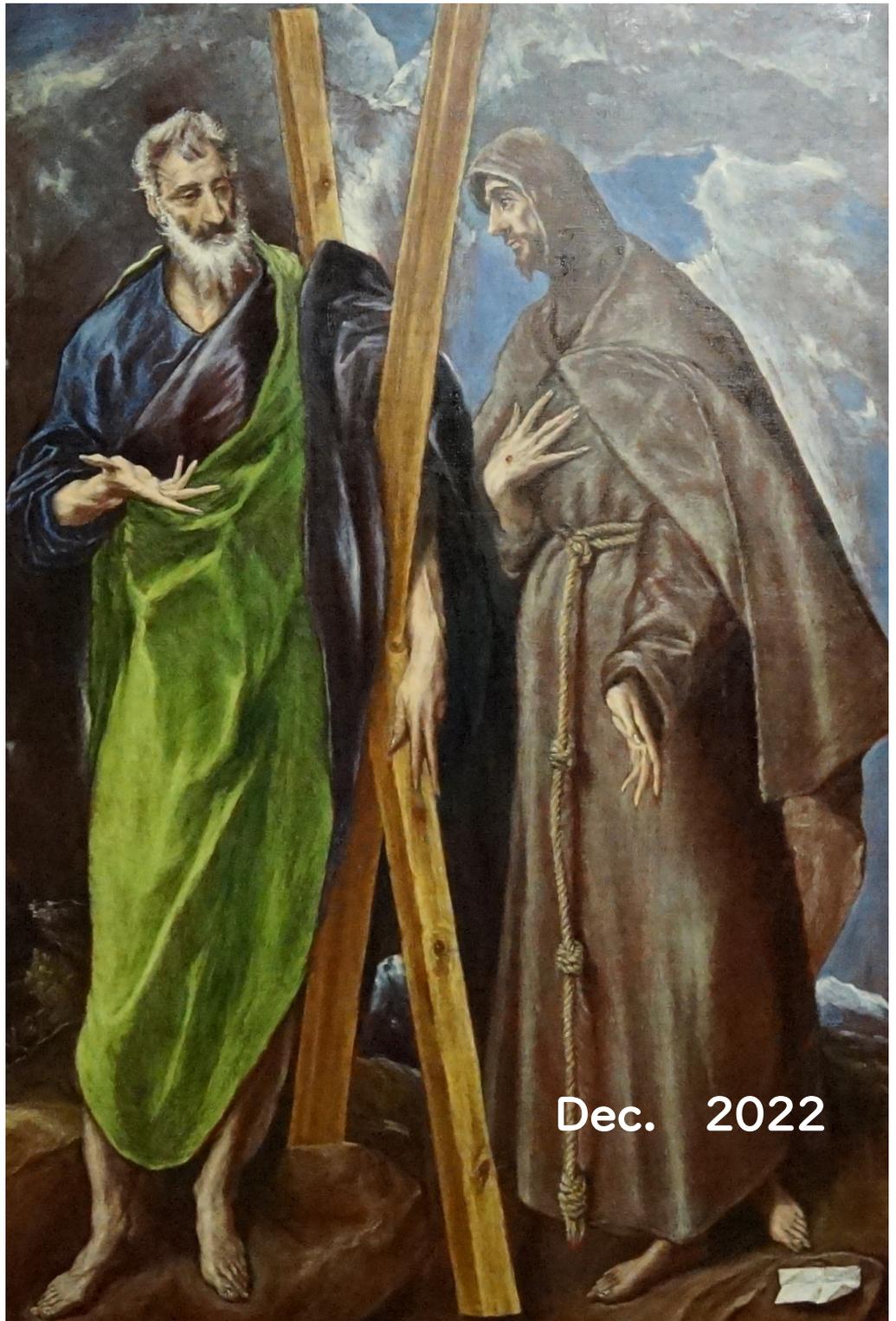
諫早市美術・歴史館

BIREKIだより

Museum News /vol.30

Contents

- 野田みち子展
・・・2
- 企画展報告
・・・3
- 常設展示室
・・・4
- びれきレポート
・・・6
- みんなの声
・・・7



Dec. 2022

聖アンドレスと聖フランシスコ 野田みち子(2008)

エル・グレコを描く 野田みち子展

会期 2023.2.18(土)~3.21(火・祝)



【エル・グレコ】16~17世紀にスペインで活躍した画家エル・グレコ。本名はドメニコス・テオトコプロスで、1541年に地中海に浮かぶクレタ島に生まれたギリシャ人画家である。イタリアで10年ほど活動したのち、35歳の頃にスペインに渡り、後半生を古都トレドで活動した。画家としての出発点はイコン(聖像)画家であったが、1567年にイタリアへ渡るとヴェネツィア、次いでローマで活動し、そこで西欧的な油彩画の技法等を学んだのであろう。ただし、美術の先進国であったイタリアでは職業画家として大きな成功を得るには至らず、1576年にスペインへ渡る。そのスペインで、トレド大聖堂の祭壇画を手掛けるなど宗教画家として大成し、数多くの名作を生みだしていった。

【野田みち子】そのエル・グレコの作品にスペイン・マドリードのプラド美術館で出会ったのが、今回の企画展で紹介する野田みち子氏である。1975年にフランスへ渡ると、同年の暮れにはエル・グレコと出会い、拠点をフランスからスペインへと移す。そして、エル・グレコを研究するとともに、プラド美術館公認の模写画家として模写作品制作を開始し、エル・グレコを描く画家・専門家として著名。今回は、プラド美術館が所蔵するエル・グレコ作品の模写作品を中心に野田氏のオリジナル作品を含めた30点の作品を展示する。

参考文献:『もっと知りたいエル・グレコ』(大高保二郎、松原典子著、東京美術、2012年)

記念講演

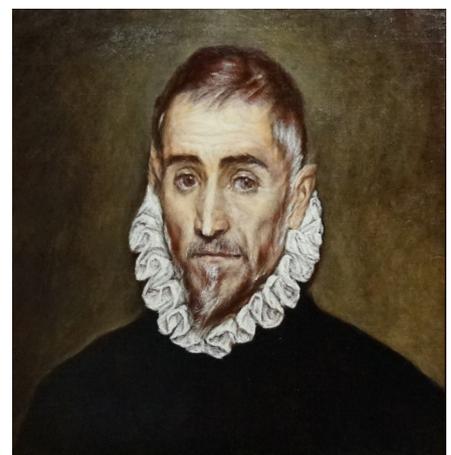
「プラド美術館にみるスペインの精神
—エル・グレコからゴヤまで—」

期日 2023年3月4日(土)13時30分~

講師 森園 敦 氏 (長崎県美術館 学芸員)

会場 諫早市美術・歴史館 2階研修室

事前申込不要



左上) 十字架を抱くキリスト (2009) 右下) 老騎士 (2009)

企画展報告

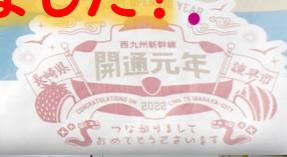
島根県 出雲市 | 岡山県 津山市

諫早市友好交流都市

二市交流展

たくさんのご来館ありがとうございました!

11.3(木)祝 - 12.18(日)



出雲



諫早



津山



オープニング
セレモニー



キッズ
ワークショップ
(からくり工作)



記念講演



キッズワークショップ
(勾玉作り)



「弱虫ペダル」
原作者
渡辺航さん来館



ギャラリートーク



キッズ
ワークショップ
(科学実験)
(電子工作)



常設展示室

諫早の歴史～古代～

4つのエリア「諫早の変遷」「諫早の歴史」「諫早の美」「諫早歴史学習コーナー」からなる常設の展示空間で、諫早にゆかりのある歴史資料や美術工芸品などを展示しています。今回は、「諫早の歴史」の中の「古代」をご紹介します。

古代の諫早にタイムスリップ!

2022年9月に大幅リニューアル

生活の道具

古代の食生活は狩猟と採集によるものでした。毒を塗った矢じりで刺したり、石で頭を叩いたりして獲物をしとめていました。縄文人が食べた後の動物の骨や、平安時代(約1000年前)の長さや価値の基準が分かる資料を展示しています。

ナイフ形石器



石鏃(矢じり)



石斧(せきふ)



木をくり抜いて舟を作る道具

石匙(いしさじ)



動物をしとめたり、しとめた動物の皮をはいたりする道具

石庖丁(いしぼうちょう)



石錘(せきすい)



稲の穂を摘む道具

船のおもりとして使う道具

古代人が食べていたもの



モモの種



ニホンシカの骨



イノシシの骨と牙



中国の貨幣

定規

※ほぼ実寸大

古代人のおしゃれ

古代人は動物の骨・牙・角、貝殻、ヒスイ、木、粘土などで、アクセサリーを作って身につけていました。階級が区分されるようになると、高い身分を表すために耳環(耳飾り)などを身につけました。

文化振興課文化財チームが担当しました。



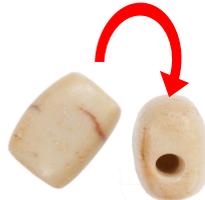
黒曜石のブローチ



耳環(イヤリング)



穴が開いているアクセサリー



サメの歯



福井専門員

祈り・願い

ここでは、人を葬るための甕棺や、お経を入れて平安を願う経筒、キリスト経に関連する花十字紋瓦や千々石ミゲル墓所推定地の出土品などを紹介しています。



野澤主任

器台(きだい)



土偶(どぐう)



甕棺(かめかん)



経筒(きょうづつ)



死人を入れる器



経石(きょうせき)

お供えものを飾る器

錠前



(じょうまえ)

ガラス片



伝マリア観音像



千々石ミゲル墓所推定地の出土品



花十字紋瓦

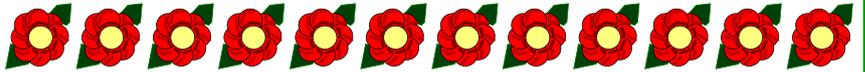


三つ巴紋瓦

高城跡の出土品

お経の文字が書かれた石

びれきしレポート



芸術の秋 今年もいろいろな作品展があり、まさに豊穡の秋でした。



- 飛龍書道展 8/26～8/28
- 異色COLLABO展 8/31～9/4
- 久保洋三絵画展 9/8～9/12
- 諫早市小・中学校科学展 9/15～9/21
- アールブリュットフェスティバル 9/23～9/25
- MOA美術館長崎県児童作品展 9/29～10/2
- 県央地区書作家協会書道展 9/30～10/2
- 長崎県美術展覧会 10/6～10/16
- 諫早市美術展覧会 10/21～10/24
- 三市交流展 11/3～12/18



ボランティア歴史ガイド始動!!

美術・歴史館の活動活性化や来館者サービス向上を目指し開催したボランティア歴史ガイド養成講座が終了し、10月からボランティア歴史ガイドさんの活動が始まりました。史跡巡りの安全確認や企画展の監視などを担当していただいています。



「多良海道」をテーマに歴史講座と史跡巡り

新幹線開業を記念した街道シリーズの第3弾。今回も大盛況でした。

★11月27日(日)の「多良海道」講座は満席。江戸時代の道幅が多く残っていることや、ほぼ全行程で有明海を眺められることなど「多良海道」の魅力を学びました。高来地区や佐賀県太良町など「多良海道」沿線からも、たくさん受講されました。

★12月10日(土)の「史跡巡り」では「多良海道」のうち、光江津など江戸時代の史跡などを訪ねながら、約8キロを歩きました。



みんなの声

館長講座 9/25

11月3日からの「諫早市友好交流都市 出雲市・津山市 三市交流展」に先立って、三市の交流、出雲市・津山市の歴史などについての講座を開催しました。



受講者の感想

・なかなか難しい内容でした。津山市は全く知りませんでしたし、出雲市は市名を知っている程度で、知らないことを知る貴重な機会になりました。「三市交流展」に足を運んで、理解を深めるとともに、両市にぜひ行きたいと思います。両市の歴史に関心を持つきっかけをいただき、ありがとうございました。(牧さん)

・三市の交流のことは、今まで知らなかったのですが、今回の講座を受講し、身近に感じられるようになりました。興味深いエピソードを交えた分かりやすいお話で、歴史的な背景もよくわかり、「三市交流展」で展示される資料を見るのが楽しみになりました。(菅さん)



史跡見学 10/1

諫早駅西口をスタートして、長崎街道を永昌宿・小船越・貝津・久山・喜々津へと歩きました。ゴールの喜々津駅前では……



参加者の感想

なんとか8キロ歩破できました。喜々津駅前で商工会の方がおもてなしをしてくださり、商店街で食事もしました。疲れが吹っ飛びましたね。気持ちのいい一日でした。(Tさん)

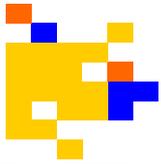
常設展示室「諫早歴史学習コーナー」

社会の移り変わりの学習で、「昔の道具」の見学に、今年も小学3年生の皆さんが来館されています。

感想から

ぼくの家のごうろうとにってるけど、ちがっていて、おもしろかった。





スケジュール (2023年1月～2023年3月)

展 示

12/22(木)～1/11(水)

創成館高校作品展

1/12(木)～15(日)

諫早市老人クラブ連合会 生きがい作品展

1/19(木)～25(水)

諫早市小・中学校特別支援学級児童生徒作品展
「すまいるスマイル展」

1/27(金)～29(日)

長崎県高等学校文化連盟書道展

2/3(金)～8(水)

諫早市小・中学校美術展

2/19(日)～26(日)

第40回 小・中学生新春書初め大会

2/18(土)～3/21(火・祝)

エル・グレコを描く 野田みち子 展

3/21(火・祝)～4/2(日)

野口彌太郎作品展

講座・イベント

イベント

1/ 9(月・祝) 美歴エントランスコンサート 初春箏曲の響き

3/21(火・祝) ミモザ忌

歴史講座

1/29(日) 島原街道

史跡見学

2/ 4(土) 島原街道(諫早駅～西諫早駅)

2/25(土) 諫早の寺社巡り(小長井・竹崎の寺社)

館長講座

2/12(日) 諫早菖蒲日記と諫早の歴史



ご利用案内

- 開館時間/ 10:00～18:00(展示室への最終入場は17:30)
- 休館日/ 毎週火曜日(祝日の場合は翌日)、12月29日～1月3日、特別整理期間
- 観覧料(常設展示室)

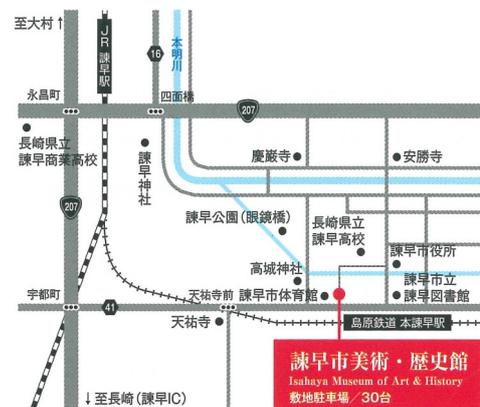
区 分	観覧料(1人1回につき)	
	個人	団体(15人以上)
高校生・大学生・一般	200円	160円
小学生・中学生	100円	80円

- 市内在住または市内在学の小・中学生は無料です。
- 教育を目的として小・中・高・特別支援学校生などが利用する場合は、引率の教員を含め、無料です。
- 障害者手帳等の掲示者及び付添人1名は無料です。
- 【その他】 ●ベビーカーや車椅子の貸出、授乳室もご利用いただけます。
- 敷地駐車場: 30台

諫早市美術・歴史館

〒854-0014 長崎県諫早市東小路町2番33号
 TEL: 0957-24-6611 FAX: 0957-24-6633
 E-mail: bireki@city.isahaya.nagasaki.jp

- 【アクセス】 ● JR: JR諫早駅から徒歩約20分
- 島原鉄道: 本諫早駅から徒歩約5分
- 自動車: 長崎自動車道・諫早ICから約10分
- バス: 長崎県営バス・諫早公園下車5分



諫早市美術・歴史館の企画展やイベントなどの情報をホームページやInstagramなどでお届けしています。

Homepage



Instagram

